

# さんじょう 市議会 だより

SANJO SHIGIKAI DAYORI

市民と議会を結ぶ架け橋

8.16

No.13  
2014/H26

## あの水害を忘れない

三条市水防学習館



議会を傍聴しませんか？

次の定例会の  
開催予定は

9/2 火～

### 主な内容

#### 《市議会の新体制はじまる》

● 議会構成…………… P2

#### 《平成26年6月定例会(6月20日～7月4日)》

● 議案賛否一覧…………… P4

#### 《市政を問う》

● 質疑・大綱質疑…………… P6

● 一般質問…………… P9

● 常任委員会審査レポート…………… P14

#### 《報告》

● 政務活動費収支…………… P15

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話:0256-34-5511(内線347) FAX:0256-33-8861

メール:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

パソコンでも情報発信中!

三条市議会

検索

住みよい三条市に向かって  
議論を重ねます

# 市議会の新体制はじまる

地方分権が進み、地域の自治を進める上で、議会が果たさなければならぬ役割はより重いものになってまいりました。自治体間の競争も激しくなっております。

来年は、市町村合併によって新しい三条市が誕生して10周年という節目も迎えます。

このような時期に副議長に選出していただきました。浅学非才ながら議長を補佐できよう頑張りたいと思っております。

皆さまのご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



副議長 杉井 旬



議長 森山 昭

このたび議員各位より推挙され議長を拝命いたしました。三条市議会の議長という重責に身の引き締まる思いであります。

主役は常に市民であることを基本に、公平公正の議会運営を心掛け、山積する諸課題に向け全議員が一丸となって取り組み、信頼される議会であるように一生懸命尽力いたします。

今後とも皆様のご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## 常任委員会

市の行う事務や議案に関する調査を効率的、専門的に行うため、議会が設置するもので、三条市には3つあり、議員はいずれかに所属します。議案は、本会議で直ちに決めるものもありますが、市の行う事務が幅広く内容も複雑なため、議案や請願の審査を常任委員会に付託して、所管部局から詳しい説明を受け、質疑を行って委員会としての結論を出し、本会議に報告します。

### 【所管部局】経済建設常任委員会 (定数8人)

委員長 山田富義 自民クラブ 林町二丁目 2期	副委員長 名古屋 豊 新しい風 西潟 2期	たけいしえいじ 武石栄二 自由クラブ 南中 4期
のぞきひさお 野寄久雄 自由クラブ 東三条一丁目 1期	さかい つよし 酒井 健 新しい風 長野 1期	さかい りょうえい 坂井良永 日本共産党議員団 福島新田 2期
こうさかと しろう 高坂登志郎 新政クラブ 東三条一丁目 4期	いとうとくぞう 伊藤得三 無所属 南新保 1期	名 前 顔写真 所属会派 住 所 期数(新市から)

### 議会運営委員会 (定数9人)

議会の円滑な運営を図るために、会期の決定や議会の運営、議事の取り扱いなどを協議します。

委員長 佐藤和雄  
副委員長 藤田博史 久住久俊  
野寄久雄 岡田竜一 横山一雄 武藤元美 笹川信子 長橋一弘

### 河川改修・国道整備促進特別委員会 (定数13人)

五十嵐川改修等に関する事業や国道8号(栄拡幅)、国道289号(八十里越)、国道403号(三条北バイパス)整備事業の調査・研究を行います。

委員長 熊倉 均  
副委員長 藤田博史  
阿部銀次郎 武石栄二 森山 昭 岡田竜一 酒井 健 横山一雄 佐藤宗司  
武藤元美 坂井良永 野崎正志 長橋一弘

### 議会報編集委員会 (各会派および無所属議員)

市議会の活動状況を広く市民にお知らせし、議会に対する理解と関心を深めてもらうため、市議会だよりを編集します。

委員長 野崎正志  
副委員長 坂井良永  
野寄久雄 河原井拓也 山田富義 長橋一弘 伊藤得三

### 【所管部局】議会議務局、総務部、サービスセンター、会計課、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、教育委員会、消防本部、その他

### 総務文教常任委員会 (定数9人)

委員長 ささがわのぶこ 笹川信子 公明党議員団 島田三丁目 3期	副委員長 こばやし まこと 小林 誠 日本共産党議員団 島潟 4期	さとうかずお 佐藤和雄 自由クラブ 泉新田 4期
しもむら まさく 下村喜作 自由クラブ 田島二丁目 4期	あべぎんじろう 阿部銀次郎 自由クラブ 上保内 4期	すぎい ひとし 杉井 旬 新しい風 鶴田一丁目 3期
ふじた ひろふみ 藤田博史 新しい風 北入蔵二丁目 2期	よこやまかずお 横山一雄 自民クラブ 麻布 4期	ながはしかずひろ 長橋一弘 新政クラブ 元町 1期

### 【所管部局】市民部、福祉保健部

### 市民福祉常任委員会 (定数9人)

委員長 おかだりゆういち 岡田竜一 新しい風 上保内 2期	副委員長 むとうもとみ 武藤元美 日本共産党議員団 東本成寺 2期	くすみひさとし 久住久俊 自由クラブ 塚野目四丁目 4期
くまくら ひとし 熊倉 均 自由クラブ 長沢 4期	もりやま あきら 森山 昭 自由クラブ 貝喰新田 3期	かわらいたくや 河原井拓也 新しい風 石上三丁目 1期
さとうそうじ 佐藤宗司 自民クラブ 上谷地 4期	にしかわしげのり 西川重則 自民クラブ 島田三丁目 4期	のぞきまさし 野崎正志 公明党議員団 新光町 3期



全議案原案のとおり決定

6月定例会は、6月20日から7月4日までの15日間にわたって開かれました。初日は、全国市議会議長会の表彰状伝達式が行われ、「教育委員会委員の任命」と「固定資産評価審査委員会委員の選任」の人事案件2件について採決の結果、いずれも同意されました。

市長提出議案は、このほか「三条市税条例の一部改正」などの条例案件、「デジタル移動系防災行政無線システム構築委託業務契約の締結」、ロータリー除雪車や消防ポンプ自動車の「動産の取得」、プールの損傷が著しい大浦小学校、大面小学校および栄北小学校のプール改修工事費などを盛り込んだ「平成26年度三条市一般会計補正予算」約1200万円など16件が上程されました。

採決の結果、すべて原案のとおり可決、同意、承認されました。このほか請願の採決に伴う「手話言語法の制定を求める意見書」および「30人以下学級実現及び義務教育費国庫負担制度の復元を求める意見書」を国会および関係行政庁に対し、それぞれ送付しました。

Table with columns: 議案, 会派名, 自由クラブ, 新しい風, 自民クラブ, 日本共産党議員団, 公明党議員団, 新政クラブ, 無所属, 議決結果. Rows include 議第14号, 議第15号, 議第16号, 報第1号, 報第2号.

Table with columns: 議案, 会派名, 自由クラブ, 新しい風, 自民クラブ, 日本共産党議員団, 公明党議員団, 新政クラブ, 無所属, 議決結果. Rows include 議員発案第1号, 議員発案第2号, 議員発案第3号, 請願第1号, 請願第2号, 請願第3号.

※1 高坂登志郎議員は賛成、長橋一弘議員は反対
※2 名古屋豊議員、杉井旬議員、岡田竜一議員、藤田博史議員、河原井拓也議員は賛成、酒井健議員は反対
※3 杉井旬議員、岡田竜一議員、藤田博史議員、酒井健議員、河原井拓也議員は賛成、名古屋豊議員は反対
※4 山田富義議員は賛成、西川重則議員、横山一雄議員、佐藤宗司議員は反対
※5 長橋一弘議員は賛成、高坂登志郎議員は反対

会派所属議員

Table mapping political clubs to their members: 自由クラブ (久住久俊, 武石栄二, 佐藤和雄, 森山昭, 下村喜作, 野寄久雄, 阿部銀次郎, 熊倉均), 新しい風 (名古屋豊, 河原井拓也, 杉井旬, 岡田竜一, 藤田博史, 酒井健), 自民クラブ (西川重則, 横山一雄, 佐藤宗司, 山田富義), 日本共産党議員団 (小林誠, 武藤元美, 坂井良永), 公明党議員団 (野崎正志, 笹川信子), 新政クラブ (高坂登志郎, 長橋一弘), 無所属 (伊藤得三)

※○：会派の代表者

議案賛否一覧表

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対

Large table with columns: 議案, 会派名, 自由クラブ, 新しい風, 自民クラブ, 日本共産党議員団, 公明党議員団, 新政クラブ, 無所属, 議決結果. Rows include 人 議第1号, 人 議第2号, 人 議第3号, 人 議第4号, 人 議第5号, 人 議第6号, 人 議第7号, 人 議第8号, 人 議第9号, 人 議第10号, 人 議第11号, 人 議第12号, 人 議第13号.

**問** 過去に職員組合との紛争で、協定を結んでいるが、承知しているのか。

**答** 十分承知している。

**問** その際に、弁護士等の経費は、いくら掛かったのか。

**答** 着手金が52万5000円、報酬が100万円、職員の時外勤務についてはデータが残っていない。

**問** 無年金期間を無くすためである。

**答** 過去に職員組合との紛争で、協定を結んでいるが、承知しているのか。

**問** 裁判等になれば経費が掛かるのを承知で、なぜ職員組合と真摯に交渉せず、改正例規を運用したのか。

**答** 無年金期間を無くすためである。

な者ではなかったのではないかとという2点の内容である。また、救済の申し立ての内容は、誠実な団体交渉を再開すること、団体交渉の結果が妥結されるまでの間は改正前の給与を支給することの2点である。



市政の  
?を  
問いました



# 質疑・大綱質疑

## 議第3号

**問** 消費税率の引き上げに伴い、政府は新たに地方法人税を一部国税化し、地方交付税の原資にするとしている。この改正で三条市への影響はどうか。

**答** 一部国税化による地方交付税の配分については現段階で不明。三条市の税率引き下げの影響は、約1億7000万円の減収。地方消費税交付金は当初予算で1億3000万円の増と見込んでいる。

**問** 今回の改正で軽自動車税の税率が引き上げられる。市民への影響と三条市への税収はどの程度か。

**答** 原付バイク、オートバイなどの標準税率の引き上げで約1200万円、軽四輪等は、約900万円の増を見込んでいる。

**問** 新たに軽自動車に重課税が導入される。13年経過した時点で1・8倍も増税するこの制度は、物を大切にすることを否定する理不尽な制

**問** 三条市独自の政策に関する費用なのだから、三条市独自で対応すればよいのではないか。

**答** 職員だけでは専門的な知見に足りないと考えている。

**問** 行政運営にはコンプライアンスが必要。目先のコスト削減が最終的なコスト増とならないよう、また職員のモチベーション低下が市民サービス低下とならないような人事政策を行うべきではないか。

**答** コンプライアンスはもちろん必要。モチベーションという言葉が言い訳となり、市民サービスを低下させないよう適切な人事政策を行っていく。

## 報第1号

**問** 小規模災害生活再建資金貸付金900万円を被災者が活用していない要因は何か。

**答** 8月末までが申し込み期限だが、今後、生活再建に向けた支払い方法などのめどを検討されることも推察され、被災者からの照会・相談には丁寧に対応していきたい。

度だ。この制度の見解と該当する車両の数、税収はどの程度か。

**答** 重課税の導入は、軽自動車にも入されたと理解している。対象台数は6873台、税収は約2800万円と見込んでいる。

## 議第6号

**問** 国の条例制定基準の見直し等が行われるに至った経緯は何か。

**答** 平成25年8月に京都府福知山市で死者3名・負傷者56名を出した花火大会火災を踏まえ、同様の事故を防止するために見直しが行われた。

## 議第12号

**問** ふるさと三条応援寄附金の在り方についての検討は行っているか。

**答** これまでの理屈通りのやり方ではなく、お礼品の充実にかじを切る。やるからには全国トップクラスを目指し、1万円以上の寄附

6月定例会では、3会派が質疑・大綱質疑を行いました。

## 議第14号

**問** 入札の問題については、不調が続出していることは全国的な傾向ではあるが、予定価格の設定に問題があるのではないかと何度か指摘している。今回の予定価格には議会で指摘した資材の高騰や建設労働者、鉄筋工、型枠工などの建設労働者が不足していることなどを十分に考慮した上で設定したのか。

**答** 今回の予定価格については、現在の経済情勢、部材の高騰後の単価、労務単価を総合的に勘案して決定したものであり、適正な予定価格と認識している。

## 議第15号および議第16号

**問** 新潟県労働委員会に行った申し立ての中で、組合交渉においてどういう不当労働行為があったのか。救済申し立ての内容は何か、つまびらかにしてもらいたい。

**答** 申し立ての趣旨は、一連の団体交渉が不誠実な団体交渉だという主張と、その交渉に当たる者が適当

## 議席図

図中の番号は議席番号です。

傍聴席									
21 西川重則		22 阿部銀次郎		23 下村喜作		24 佐藤和雄		25 久住久俊	
13 佐藤宗司		15 杉井 旬		16 森山 昭		17 武石栄二		18 熊倉 均	
5 山田富義		7 藤田博史		8 名古屋豊		9 野寄久雄		10 笹川信子	
1 河原井拓也		3 伊藤得三		4 長橋一弘		11 坂井良永		12 武藤元美	
2 酒井 健		6 岡田竜一		14 横山一雄		19 野崎正志		20 小林 誠	
理事長側席					質問席		理事長側席		
					演壇				
					議長				

**〔一般質問〕** 議員による市政に対する一般質問の方法として、これまでの一括質問方式に問一答方式と分割質問方式を加えました。これは、今まで質問とそれに対する答がわかりにくいというご意見があったこと、また議会運営委員会での議事運営に関する先進地視察で得たもので、どのような方法がいいのか議論し、検討を行った結果6月定例会から運用しました。

これからは、これまで以上に議論を深め、市民の皆さんにわかりやすくお伝えしていきたいと思ひます。

### 〔平成26年6月定例会における一般質問通告状況〕

一括質問方式 4人 問一答方式 9人 分割質問方式 2人

# 討論



## 日本共産党議員団 議第3号三条市税条例の一部改正 正について反対

国の地方税法の一部改正は、消費税増税と一体で消費税を地方財源の主要財源として整備定着させていくというものだ。法人市民税では自治体間の税収格差を是正するとして、地方自治体独自の財源である法人市民税の法人税割の税率を引き下げ、その財源をもとに、国税として地方交付税の原資としている。法人市民税・法人税割の税率が2.6%引き下げられることになり、今後税収への影響が大変懸念される。

また、軽自動車税の税率引き上げと重課税の導入については、車体課税について、自動車取得税の税率を引き下げる一方、財源の穴埋めとして軽自動車税を引き上げるものだ。

軽自動車は価格、維持費が安価なため、その需要は大きい。生活に欠かせない軽自動車や原付オートバイなどに大幅な増税を行うことは、消費税増税とともに二重の負担増となる。また、平成28年度分より、最初の新規検査から13年経過すると一気に現行税率の1.8倍にもなる理不尽な改正のため反対。

## 議第15号平成26年度三条市一般 会計補正予算と議第16号平成26 年度三条市水道事業会計補正予 算に反対

この補正予算は、職員組合が不当労働行為救済申し立てを行ったことに対応するため弁護士等に係る経費の予算措置を行うものであり、市の対応によっては今後さらに支出が見込まれる経費である。今、市がすべきことは、弁護士費用を補正することではなく、職員組合と話し合い、解決を目指すことではないのか。ただ漫然と税金を使い裁判をするというのは、許されない。

地方公営企業等の労働関係に関する法律第2条に、関係者の責務として、「地方公共団体におけるその経営する企業(中略)の重要性にかんがみ、(中略)関係者は、紛争をできるだけ防止し、かつ、主張の不一致を友好的に調整するために、最大限の努力を尽さなければならぬ」と規定されている。職員組合と市において、最大限の努力をすべきである。努力なしに、安易に補正予算を認めるべきではない。駄目だった場合に改めて補正予算を上程するべきであり、その努力をしてこそ、今後の審議において、三条市の正当性が認められると考える。

## 自由クラブ 請願第3号に反対

日本国憲法制定後、吉田内閣は「個別的自衛権」もないとしていた。憲法第9条をそのまま読めば当然そうなる。それが、時の変遷により自衛のための戦力は保持しても構わない、自衛のための戦争までは禁じていないという解釈に変わった。憲法制定後間もなく70年になるうとして、わが国の防衛政策はこれまで解釈改憲によって変更されてきたというのが歴史の真実である。

現在わが国を取り巻く国際環境は激変し、周辺国にはあからさまに軍事力を強化してわが国を威嚇しているところが存在する。同盟国アメリカとの関係を強化する集団的自衛権を確立することは、わが国を侵略しようとする者に攻撃を思いとどまらせること、すなわち抑止力の強化につながる。

集団的自衛権の確立は戦争への道というプロパガンダがマスコミで横行しているが、そのような論理不在の情緒的意見にはくみすることができない。国民の生命と財産を守るため、国連もはっきり認め、どの国でも常識とされている集団的自衛権を確立することを宣言した安倍内閣の英断を高く評価するものである。

## 日本共産党議員団 請願第3号に賛成

日本は、先の大戦で310万余の国民の尊い命を失い、三条市においてもこの戦争で2746人が亡くなった。日本は悲惨な体験と多大な犠牲のもとに平和憲法を制定した。

この憲法のもとで、戦後これまで日本は戦争によって1人の国民も外国人に殺されることなく、また1人の外国人を殺すこともなく、戦争をしない国として諸外国の人々の信頼を得てきた。

しかし、安倍内閣は7月1日、国民多数の反対の声を背いて、集団的自衛権行使容認を柱とした解釈改憲の閣議決定を強行した。この閣議決定は、「憲法第9条のもとでは海外での武力行使は許されない」という、従来の政府見解を転換し「海外で戦争する国」への道を開くものである。

安倍首相は「必要最小限の実力の行使」というが、いったん海外での武力行使に踏み切れば、相手からの反撃を招き、攻撃されれば応戦するという際限のない戦争の泥沼に陥ることになりかねない。地方から「戦争をするな」の声を上げ続けることが大切である。三条市議会として政府に意見書を提出することが必要だ。この請願は採択すべき。

# 一般質問

ダイジェスト

市政の  
?を  
問いました

## 【議員と行政のQ&A】

### 合併10年に向けての取り組み

問 来年5月で新三条市が誕生し10年となる。合併のハード面とソフト面の検証が必要ではないか。

答 ハード面は、地域審議会での検証を行ってきた。ソフト面は、市民満足度調査を小学校区単位で集計し、満足度の違いについて分析を行っている。次期総合計画策定に際しても満足度の違いについて分析を行う。



下田村閉村記念碑

### 災害復旧事業について

問 土木災と農地災の区分、農地災の負担額の上限について。

答 災害復旧時において柔軟に対応するため、区分は明確にしない。農地災の負担額上限は、旧下田の制度1カ所5万円が生きている。



河川災害

### 三条市職員の再任用制度について

問 再任用職員を全て期限付任用職員相当とせず、時間外勤務の削減ともなる運用をするべきでないか。

答 雇用と年金の接続のための制度であり、格付けについては責任の度合いに応じ検討する。

### 中心市街地の魅力の向上

問 少子高齢化社会を迎え、どのように中心市街地整備を図るのか。

答 全天候型広場や旭・裏館統合保育所、飲料水の備蓄施設、内水対策等まちづくりをハード面から投資する。

### 麻布谷川の抜本改修について

問 麻布谷川が氾濫すると嵐北の市街地、井栗、下保内方面にまで甚大な被害を与えることがある。隧道が竣工して六十余年が経過し、老朽化が進み崩落等の危険がある。調査結果と補修、新トンネルの必要性について、信濃川水系土石流危険渓流について、雨のたびに大きな被害が出ており、谷止めダムなど抜本的改修が必要ではないか。保安林の指定などで麻布谷川の抜本的改修に取り組みすべきではないか。

答 隧道の現況調査を行い、県に事業化を要望している。内部に亀裂があり、湧き水も見られる一方、コンクリートの剥離はない。老朽化が進んでいるが緊急性は少なく、当面は補修などの維持管理に努め、工事の実施に向け県と協議を進めている。



麻布谷川の氾濫



土石流危険渓流の注意看板

### 国保税について

問 三条市の国民健康保険税は、平成23年度から連続値上げされている。「国保税は重過ぎる」「何とかしてほしい」との声が多い。この間、どのくらい値上げし、被保険者はこれに耐えられるだけ所得が上がったのか。累積赤字の穴埋めを全て保険税で賄うのは無理ではないか。

答 この間、1人当たりの税額は約22%増加し、被保険者の所得は、1人当たり5.9%の増加。赤字解消は、基金の取り崩し、保険税の値上げが基本であり最善の方策だと考えている。

集団的自衛権をめぐる問題について

問 安倍内閣は、海外での武力行使を容認する憲法解釈の変更を閣議決定で行おうとしている。また、三条市は立て看板などで自衛官募集に協力している。自衛隊の役割が大きく変えられようとしている中で、このまま続けるのか。

答 自衛官募集事務は、自衛隊法の規定に基づく法定受託事務で、本来国が行う事務を法令の規定に基づき地方自治体が行っているにすぎず、今後も継続していく。国防に関する国の議論に市町村が意見を申し述べることはない。



自衛官募集看板

三条庁舎についての考えは

問 45年以上経過した中で、新庁舎建設の計画はあるのか。現庁舎の耐震対策と耐震強度について、障がい者に利用しやすい対応と庁舎内の改善点をどのように考えているか。

答 現段階では具体的計画はない。耐震診断の調査結果では、IS値は0.

25から1・26の幅にあり、大規模な地震によりすぐ倒壊することはない。障がい者対応としては、今年度5階と地下、それから低層棟のトイレ改修を行う予定である。多目的なトイレ設置を検討している。利用しやすい庁舎にしていきたい。



改善が必要な箇所

林業政策について

問 平成16年、23年の大水害で中山間地での山林被害は大きい。農林土木費を細分化し、林業土木費の予算を立て、里山整備の取り組みをしてはどうか。

答 農林課の農林関係補助金により里山整備、また周辺環境の整備を行っており細分化の必要はない。

中山間地振興計画について

問 合併10年間の取り組みと空き家対策としての民宿計画の考えは。

答 振興計画については、国の山村振興法に基づき策定している。空き家を選定し、計画を進めている。

若年層の投票率アップを目指せ!

問 先進事例の調査や市民のアイデアを募るなどするべきではないか。

答 先進事例の研究や「SNS活用」「大学生対象の新潟選挙力レッジ」「小中学校への出前授業」など新たな取り組みを行う県との連携を図る。出前授業については、来年1月下旬に大崎小学校で実施が決まっている。アイデア募集の提言については参考にする。



投票率低下は市政への関心の薄さ!

成年後見制度の利用促進を図る!

問 制度利用者の実数やニーズを把握するためのアンケート等の実態調査をすべきではないか。

答 アンケートについては検討する。実際に相談に乗る地域包括支援センター職員や後見人となっている弁護士、司法書士、行政も含めた意見交換を進めていく。

問 三条市成年後見制度利用支援事業実施要綱にある「市長申立」は利用促進の障壁。平成20年には厚生労働省から対象者拡大を求める事務連絡も出ており、三条市でも「市長申立」要件を外すべきではないか。

答 高齢者や障がい者を取り巻く環境を考慮して助成対象者の拡大を図るべきで、厚生労働省の事務連絡に沿って見直しをしたい。

新経営戦略プログラムについて

問 行政の規模、質は過剰で、体質は硬直的であるところがあるが。

答 市民ニーズが低下した事業を漫然と継続してきたり、職員の増加という状況が過剰で、環境の変化に対応できない職員の考え方が硬直的である。

製造業者に対する優遇策は。

問 これまで売れるものづくり支援事業等の支援策を実行してきたし、今年度は新たに「社逸品づくり」を支援するなど継続的に実施していきたい。

子育て支援の充実について

問 学校給食の無償化を実施する考えはないのか。

すべての子どもの医療費助成、中学卒業まで拡充を!

問 県内の9割以上の自治体では既に中学、高校卒業まで子どもの医療費助成をしている。なぜ三条市でできないのか。

Table showing medical cost assistance for children in Niigata Prefecture as of April 1, 2014. Columns include '自治体名' (Municipality Name), '入院' (Inpatient), and '通院' (Outpatient). Rows list various municipalities like Niigata City, Toyama City, etc., and color-coded by age group: 3 years and under (blue), elementary school (yellow), middle school (orange), high school (green).

答 それ以外に効果的な政策をやる必要があるからだ。

和食に牛乳は合わない? だから給食の牛乳は中止?

問 学校給食の牛乳については考え方が賛否両論で二分する中、試行的とはいえ冬期間の中止を決めることでよかったのか。

答 牛乳が合わないのではないかとという問題は、以前より懸案事項で

人口減少対策に高等教育機関を!

問 人口の社会減を縮小するため高等教育機関を設置してどうか?

答 高等教育機関の設置は極めて有効な選択肢の一つである。高校を卒業した方の市外転出が顕著であり、女性においてはかなり多く見受けられる。また、県央の2次医療圏は医師不足と並び、看護師さんの配置状況は深刻であ

Table titled '三条市の人口と世帯' (Population and Households of Sanjo City). It shows population trends for males, females, and total, along with household trends.

人口減少問題

議員定数削減について

問 実施された場合、市政執行上都合は生じないか。

答 二元代表制において、市民のためにお互いに切磋琢磨していく。

人権政策と教育政策の融合、いじめ問題の対応

問 いじめは人権問題である。社会全体で解決していかなくてはならない。地域に真に開かれた学校となることが不可欠である。人権政策と学校現場における教育政策の連携についてお聞きする。

答 地域に学校を開き、大勢の大人の力を借りながらいじめ防止に取り組む。

地域包括ケアシステムについて

問 高齢者が住み慣れた地域で、医療・介護などのサービスを一体で受けることを目指している地域包括ケアシステムについて、どのように考えているのか。

答 昨年から三条市医師会では、在宅医療体制の構築に向けたモデル事業に取り組み始めている。積極的に協力し、それを中核に肉付けしていきたい。

市の花「ヒメサユリ」について

問 認知症への対策はどのようなになっているか。

答 医療と介護の連携や地域包括支援センターを中心に、ネットワークの構築に努めていきたい。



市の花 ヒメサユリ

市の花として活用はどうか。

答 越後三条・高城ヒメサユリ祭りや観光看板、名刺、ナンバープレートに活用している。

山登りのできない人へどのようにアピールするのか。

答 高山植物であるので自生している姿に価値があるが、プランター植えを各所に用意しPRしている。

あった。消費税の引き上げが予定される中で決断した。

**水害追悼式典の冷房費に500万円掛けるより災害対策！**

**問** 防災無線の放送が聞こえにくいと言われている。災害時、一番に必要なことは正しい情報をつかむことだ。式典が終わったら撤去する冷房費に500万円掛けるより、防災無線と同じ内容を伝えるFMラジオを市民に頒布してはどうか。

**答** 防災無線が鳴るときは緊迫しているとき。まず、大雨警報、注意報をテレビ、ラジオなどで確認し、自分の身は自分で守る意識を高めていただきたい。ラジオの頒布は考えていない。

**市街地の防火対策について**

**問** 5月に発生した火災、横町二丁目、島田二丁目、三条市の中心市街地であり店舗、住宅等が密集した地域の火災であり気象条件によって被害が拡大する恐れがある。市街地の消火栓、防火水槽等は法律に基づいて配置されているか。

**答** 市街地の消防水利については、消防法の規定に基づいて適正に配置されているが、

**答** 同意しかねます。

**問** 総務部長は部下を呼び捨てで呼んでいるがバワハラでは？

**答** 呼び捨てで呼んでおると考える。

**問** 石川雲蝶イベントでの異常事項は？

**答** 市長は「芸大の先生の話が参考になった」、経済部長は「DVD放映で不手際あり」、質疑応答の最後に市長が「不手際があり申し訳ない。マスコミにオープンであり隠蔽ではない」。

**農業対策について**

**問** 今年できた農地中間管理機構が農地の受委託をするが、離農が増えている中で、農地を引き受ける農家が不足しているのではないか。

**答** 人・農地プランの策定を進めている。効率的な土地の集約を進め、担い手の確保を図りたい。

**住宅リフォーム助成制度を**

**問** 地元の中小建築関連業者の仕事確保のために、住宅リフォーム助成制度の創設を。

**答** 個人の資産増に補助することは、他の納税者の是認が得られない。

れている。消火栓については年間約10カ所、防火水槽は1基程度、新興住宅地や消防水利の手薄な場所に新設している。



火災現場

**問** 住宅用火災警報器の設置については、消防法の改正により新築住宅、そして既存の住宅については平成23年6月1日までに取り付けが義務化され、3年を経過したが火災警報器の設置状況はどうか。

**答** 三条市の住宅用火災警報器の取り付け状況は、昨年6月現在で約75%、新潟県の83.5%、全国の79.8%に比べやや低い設置率となっている。

**子ども・子育て支援新制度について**

**問** 来年4月施行予定の新制度は子どもへの健やかな成長を支援する重要な

**消費税増税について**

**問** 消費税を価格に転嫁できない中小業者の滞納が増えている。来年10月からの消費税10%への増税を市長はどのように考えるか。

**答** 国政レベルにおいて、軽減税率の導入も含め総合的なものと期待している。少子高齢化社会、生産年齢人口の減少を考えると直間比率の是正をすべきと思う。

**未婚のひとり親家庭の保育料**

**問** 税法では、寡婦控除は結婚歴のない未婚のひとり親の場合には受けられない。保育料の算定では考慮し、保育料を軽減すべき。

**答** 未婚のひとり親家庭に対する寡婦控除のみなし適用ができるように検討する。



未婚のひとり親家庭の保育料軽減へ

**パルム一跡地問題について**

**問** 第四銀行と平成22年5月17日付の

な施策である。計画には、どのようなものが盛り込まれるのか。

**答** 子ども・子育て支援法関連三法が成立した中、市では支援計画を策定する。義務付けられている項目は3点で、教育、保育を提供する基礎となる区域を策定する。各年度の教育、保育施設の需要の見込みの実施時期を定める。一時預かり、延長保育、児童クラブ等の需要の見込みを定める。

**問** 公立保育所の旭保育所と裏館保育所の統廃合は、今後どのように進めていくのか。

**答** 統合保育所が必要と認識している。一方で財政状況の枠組みの中で早期に実施していきたいと考える。



統廃合が予定される旭保育所

**生活困窮者支援について**

**問** 貧困が親の世代から子どもにも連鎖していく現実に対して総合的な取り組みは、どう考えるのか。

売買に関する覚書があるにもかかわらず、なぜ平成23年の昭栄開発の株主総会で、市長は「必ずしも紙で契約が成立するわけではない」となどと契約書等の書類がないような発言をしたのか。

**答** 当初、イオンは土地の権利を放棄していたが、解体費が予定価格の半額になったことから、平成22年5月14日イオンと1840万円で売買契約を締結した。しかし、福田組が解体工事を落札した日は平成22年6月16日であり、あらかじめ半額で落札されることが決まっていたのか。

**問** 現時点で清算した場合、三条市の出資金900万円が戻ってこないことは決算書上明らかであるが、その責任の取り方はどうか。

**答** ほぼ全ては昭栄開発の行為であり、この三条市議会が答えるべきではない。事実行為として係争中の事案が最高裁において昭栄開発の全面勝訴で決着がなされている。

**清掃センターにおける事故**

**問** 市の発表では、事故の原因の推定として、被害者本人は点検口からごみ破砕機内部をのぞき込み、バランスを崩して転落した。警察や監督署

**答** 世代を超えての貧困層の固定化が憂慮されている。これを回避するためにも次の世代の子どもたちの対応も大切である。子ども・若者総合サポートシステムとも連携しながら強化を図っていきたいと考える。

**市長の市政に臨む姿勢・態度・考え方**

**問** 「同じ方向感」とは。

**答** 仕事上の言葉で、仕事上において意味するところのもの。予算・条例等について賛成の立場で居続ける人。

**問** 他の24名の議員は？

**答** 一人一人の議員により違う。

**問** 組織図を見て気付くことは？

**答** 現状の組織機構については満足。

**問** 職員の評価について。

**答** 職員は基本的によくやっている。

**問** 「大切な一線」とは？

**答** 人として何が正しいかで、その時その折で判断をしていくべき。

**問** 「職員の意識改革」の進捗状況は？

**答** 「市役所品質」を策定し実践中である。

**問** 組織図を見ると議会軽視ではないか？

**答** そのような印象を与えるようであれば、直さねばならないのでは。

**問** 職員は上ばかりを見てる？

**答** 原因究明する、市は推定しない。推定するわけがあるのか、根源は危険な機械装置が原因か。

**問** 再開が市と下請け会社の協議だけで開始とはおかしい。市民の常識では理解できない。

**答** 監督署は関係ない。現場検証も終わり、運転再開について問い合わせた中で、差し支えないということから再開した。

**昭栄地区の再開発事業について**

**問** 昭栄地区の再開発事業は市の五大事業、議会は関係あり、単なる民間ではない。市長が監査役の監査を断り、裁判に訴えた。隠し事、不正があるのではないか。市民が900万円出資、議会が知らない、それでいいのか。市民に言い訳できない。

**答** 公共的団体であり、純然たる第三セクターで民間、議会での答弁は要らないし、しない。



## 平成25年度政務活動費収支報告 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

政務活動費は、地方議会議員の市政等に関する調査研究に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付される金銭的給付です。本市では、市議会における会派に対して、議員一人当たり月額3万円を年度当初に12カ月分を一括で交付しています。この支出に当たっては使途基準に従って行われ、使途の透明性を図るため、支出したもののすべての領収書の提出が必要になっています。

各会派から平成25年度政務活動費の収支報告が提出されましたので、収支の状況をお知らせします。(単位:円)

会派名	自由クラブ (10名)	新政クラブ (4名)	新しい風 (4名)	清流 (4名)	日本共産党議員団 (2名)	公明党議員団 (2名)	計 (26名)
<b>収入内訳</b>							
政務活動費補助金	3,600,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	720,000	720,000	9,360,000
雑入(預金利息)	227	118	121	110	71	85	732
<b>収入合計</b>	<b>3,600,227</b>	<b>1,440,118</b>	<b>1,440,121</b>	<b>1,440,110</b>	<b>720,071</b>	<b>720,085</b>	<b>9,360,732</b>
<b>支出内訳</b>							
調査研究費	3,189,050	922,154	394,360	761,980	0	47,100	5,314,644
研修費	118,000	48,000	527,980	41,000	78,720	24,000	837,700
広報費	0	357,609	0	0	150,217	0	507,826
広聴費	0	0	0	0	0	0	0
要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	64,050	78,874	18,217	87,288	162,020	83,370	493,819
資料購入費	0	7,200	0	34,440	124,990	99,915	266,545
人件費	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0
<b>支出合計</b>	<b>3,371,100</b>	<b>1,413,837</b>	<b>940,557</b>	<b>924,708</b>	<b>515,947</b>	<b>254,385</b>	<b>7,420,534</b>
返還金	229,127	26,281	499,564	515,402	204,124	465,700	1,940,198

調査研究費 会派での先進地の調査研究など、行政視察に要した費用  
 研修費 中越地区市議会合同研修会や近隣の燕市と加茂市との三市議会議員合同研修会などの参加に要した費用  
 広報費 会報などの印刷に要した費用  
 広聴費 会派での住民要望、意見聴取、住民相談などに要した費用  
 要請・陳情活動費 会派での要請、陳情活動に要した費用  
 会議費 会派が行う会議、団体等が開催する会議への参加に要した費用  
 資料作成費 パソコンのリース代、コピー用紙代、プリンタインク代などの資料作成に要した費用  
 資料購入費 図書、資料などの購入に要した費用  
 人件費 会派が行う活動を補助する職員の雇用に要した費用  
 事務所費 会派が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要した費用

## 臨時会

平成26年第3回  
5月臨時会

議員改選後、初めての議会となる5月(第3回)臨時会を5月20日の1日の会期で開催しました。

この臨時会では、新しい議長、副議長の選出をはじめ、議会運営委員会、常任委員会の委員の選任を行いました。また、市長提出の消防救急無線のデジタル化に伴う整備工事の請負契約の締結、また地方税法等の一部改正に伴う三条市税条例等の一部改正などの専決処分について同意、承認したほか、議会選出の監査委員の選任に同意しました。

○:議案に対して賛成 ×:議案に対して反対

### 議案賛否一覧表

議案	議案番号	件名	概要	会派名 (下段は所属議員数)								議決結果	
				自由クラブ 8	新しい風 6	自民クラブ 4	日本共産党議員団 3	公明党議員団 2	新政クラブ 2	無所属 2	1		
人事	議第1号	監査委員の選任について	議員のうちから選任された本市監査委員堀勉さんは、平成26年4月30日辞職したため、その後任委員として下村喜作さんを選任するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
その他	議第2号	消防救急デジタル無線整備工事請負契約の締結について	消防救急デジタル無線整備工事 契約金額 5億868万円 契約者 藤島無線工業株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
専決処分	報第1号	専決処分報告について (三条市税条例等の一部改正について)	地方税法等の一部を改正する法律が平成26年4月1日から施行されたことに伴う所要の改正 専決処分した日:平成26年3月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報第2号	専決処分報告について (三条市国民健康保険条例の一部改正について)	地方税法施行令の一部を改正する政令が平成26年4月1日から施行されたことに伴う所要の改正 専決処分した日:平成26年3月31日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報第3号	専決処分報告について (平成25年度三条市一般会計補正予算)	寄附採納に伴う財政調整基金や文化振興基金への積み立て及び財源の更正を行ったもの 補正額 223万5,000円 補正後の額 523億4,652万8,000円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認

# 【常任委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

### 大島児童館 今年度末をもって廃止が決定

総務文教常任委員会 笹川信子 委員長

議第5号三条市立児童館条例の一部改正は、大島児童館を平成27年4月1日で廃止することや、統合保育所の設計概要等について地元説明会を開催し、「ご理解をいただいた。しかし、保護者から子どもたちがすぐに溶け込めるか心配との声があったことから、交流保育を充実させその様子をお知らせし、不安軽減に努めたいとのことでした。

議第9号第二中学校校屋内体育館改築建築本體工事請負契約の一部変更では、支持の長さや短くした分は減額となったが、試掘を新たに4カ所行った経費、くい打ちの機械の待機料が発生し、差し引きすると増額となることとした。

議第12号平成26年度三条市一般会計補正予算では、教育費の予算執行の在り方について、今回はプール授業開始前の点検の際に想像以上に亀裂が入っていたり、子どもたちの安全を確保するには非常にきつい状況というやむを得ない事情の中で、既決予算において対応したとのことでした。

議第15号平成26年度三条市一般会計補正予算では、法律コンサルタント業務委託料は過去の同様の案件を参考にし、着手金として計上させていただいた。成功報酬的なものは今後の審査結果に応じて別途検討するとのことでした。

### 貸付金制度を創設 小規模災害による生活再建支援

市民福祉常任委員会 岡田竜一 委員長

議第12号平成26年度三条市一般会計補正予算の風しん予防接種の助成について、対象者本人の確認は申請時にさせていただくが、同居かどうかの確認は後で住民票を確認させてもらう。なお、国からは、より抗体が付きやすい混合ワクチンを推奨していると聞いているとのことでした。

また、日本は先進国中で予防接種事業が最低レベルのため、さまざまな場面で予防接種の必要性を周知したいとのことでした。

議第13号平成26年度国民健康保険事業特別会計補正予算では、健診未受診者への勧奨等保健指導について、国保や健診の各データがばらばらのため分析が難しい状況だったが、国保データベースシステムを活用し、地域の現状把握や健康課題を明確にし、適切な指導を進めていきたいとのことでした。

報第1号専決処分報告の小規模災害生活再建資金貸付金制度について、被災した面積ではなく、住家を対象とし5棟以上という基準を設けた。融資の条件は、所得制限のみ設けてあり、金融機関からの借入れや住宅ローンなどは審査要件としていないとのことでした。

### 調整池の整備により 床上浸水が解消される見込み

経済建設常任委員会 山田富義 委員長

議第14号旧一ノ木戸小学校跡地調整池整備工事請負契約の締結については、地下に整備される調整池は貯留容量2500立方メートルで、雨水幹線の水位により水が自然に流出する方式であるとのことでした。

また、公共下水道の雨水事業は1時間当たり41ミリの雨量で計画しているが、過去の降雨量などに基づくシミュレーションによると調整池の整備により床上浸水がなくなるという結果が出ているとのことでした。

なお、地域住民特に子育て世代から期待されている地上部分の公園については、皆さんが利用しやすい公園をつくってほしいとのことでした。

議第16号平成26年度三条市水道事業会計補正予算では、法律コンサルタント業務委託料について、今後、裁判などになった場合、弁護士費用など必要となる経費も水道事業会計が逐次負担していくことになるが、できるだけ税金を使わないで対応できるように努めたいとのことでした。



# 議会日誌

## 4月

- 3日 新潟県市議会議長会  
春季定期総会(胎内市)
- 4日 議会報編集委員会
- 11日 議会報編集委員会
- 14日 福岡県福津市議会視察来条
- 15日 議会報編集委員会
- 23日 福岡県大野城市議会視察来条

## 5月

- 8日 一期議員打合せ会
- 9日 各派代表者打合せ会
- 12日 政務活動費経理担当者会議
- 13日 各派代表者打合せ会
- 15日 各派代表者打合せ会  
三重県伊勢市議会視察来条
- 19日 各派代表者打合せ会
- 20日 各派代表者打合せ会  
第3回臨時会  
〔議長・副議長選出、議会運営委員会・各常任委員会委員選任〕  
議会運営委員会  
総務文教常任委員会  
市民福祉常任委員会  
経済建設常任委員会  
議会報編集委員会  
総務文教常任委員協議会

- 22日 宮崎県日南市議会視察来条  
日本自治創造学会研究大会  
〔新しい風〕～23日(東京都)
- 23日 新潟県特別豪雪地帯市町村議会  
協議会定期総会(上越市)
- 26日 議会運営委員会
- 28日 全国市議会議長会定期総会  
(東京都)
- 30日 新発田市・見附市議会視察来条

## 6月

- 2日 北信越市議会議長会表彰状伝達式
- 3日 一期議員所管事務概要説明会  
～4日
- 5日 市内公共施設等視察
- 6日 市民福祉常任委員協議会  
経済建設常任委員協議会
- 9日 総務文教常任委員協議会
- 13日 各派代表者会議  
議案概要説明会  
議会運営委員会
- 19日 議会運営委員会
- 20日 本会議〔全国市議会議長会表彰  
状伝達式、提案説明〕  
議会報編集委員会
- 23日 本会議〔大綱質疑～委員会付  
託、一般質問〕

- 24日 本会議〔一般質問〕
- 25日 本会議〔一般質問〕  
議会運営委員会
- 26日 本会議〔一般質問〕  
各派代表者会議
- 27日 市民福祉常任委員会  
市民福祉常任委員協議会
- 30日 経済建設常任委員会

## 7月

- 1日 各派代表者会議  
総務文教常任委員会  
総務文教常任委員協議会
- 3日 各派代表者会議  
議会運営委員会
- 4日 本会議〔委員長報告～採決〕  
河川改修・国道整備促進特別委  
員会

## 9月定例会日程

- 2日(火) 本会議 特別委員会設置、  
提案説明
- 4日(木) 本会議 大綱質疑～委員会  
付託、一般質問
- 5日(金) 本会議 一般質問
- 8日(月) 本会議 一般質問
- 9日(火) 本会議 一般質問
- 10日(水) 市民福祉常任委員会
- 11日(木) 経済建設常任委員会
- 12日(金) 総務文教常任委員会
- 16日(火) 決算審査特別委員会
- 17日(水) 決算審査特別委員会
- 18日(木) 決算審査特別委員会
- 22日(月) 決算審査特別委員会
- 25日(木) 本会議 委員長報告～採決



## 議員表彰

永年にわたり市政発展に尽力された功績により、全国市議会議長会から横山一雄議員および梶勉前議員が議員在職15年以上の、土田俊人前議員、吉田進一郎前議員、佐藤宗司議員および小林誠議員が議員在職10年以上のそれぞれ一般表彰を受けられました。

また、北信越市議会議長会から横山一雄議員および梶勉前議員が議員在職15年以上の特別表彰を受けられ、土田俊人前議員、吉田進一郎前議員、佐藤宗司議員および小林誠議員が議員在職10年以上の一般表彰を受けられました。

なお、梶勉前議員および土田俊人前議員は都合により伝達式を欠席されました。

## 【議会報編集委員会】

委員長 野崎正志  
副委員長 坂井良永  
野崎久雄 河原井拓也  
山田富義 長橋一弘  
伊藤得三

## 編集後記

いよいよ夏本番、連日暑い日が続いています。体調には十分注意してください。

さて、今回から新しい議会報編集委員会メンバーで紙面づくりを行っています。市議会だよりを通じて市議会の様子や市政で取り組んでいることが市民の皆様にお届けできれば幸いです。

わかりやすい議会報を目指し編集を行って参りますので、市民の皆様からのご意見、ご感想をお聞かせいただくよう、よろしくお願い申し上げます。

発行/三条市議会

編集/議会報編集委員会

責任者/議長 森山 昭

三条市議会事務局

電話:0256-34-5511(代)内線347

Fax:0256-33-8861

http://www.city.sanjo.niigata.jp/

E-mail:gikajj@city.sanjo.niigata.jp